

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区

大東ロータリークラブ

- 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL: 072-875-1200
FAX: 072-875-0590
E-mail: office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/
- 例会
毎週火曜日 12時30分～1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL: 072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



創立 1967年12月26日

- 会長 藤本 和俊
- 幹事 高島 登
- 会報委員長 松原 清一

2012年～2013年度
国際ロータリーのテーマ

奉仕を通じて 平和を

国際ロータリー会長
田中 作次

平成 24 年 9 月 18 日

No. 2175 H24. 9. 11 (No. 2174 の例会記録)

今週の卓話 (9月18日)

「甲子園ー春夏連覇」

ゲストスピーカー 桐蔭高校野球部監督
西谷 浩一 氏
担当 森山 信一 会員

ゲストスピーカー 大阪桐蔭インターアクト

河津 浩司 先生
吉川 碧 さん
山元 伊織 くん

ゲスト 米山奨学生 付翠紅 さん
吉村 憲二 氏

次週の予定 (9月25日)

「都市近郊における農業」

橋本 正幸 会員

今月のテーマ

「新世代のための月間」

ロータリーソング

「我等の生業」 「四つのテスト体操」

ニコニコ箱

後面に記載

先週の例会報告

◆ 出席報告 (9月11日分)

会員数 44名 出席数 36名 欠席者1名
特定免除 7名 その他免除 0名
出席率 97.29%

前々回 8月28日分

ホームクラブの出席者 37名 92.68%
メイクアップの結果 41名
特定免除 3名 その他免除 0名
欠席者 0 修正出席率 100.00%



先週、中新世代奉仕委員会のもとで、新世代月間に因んで情報集会が開催され、多数の会員の出席を賜り大変有難うございました。後ほど報告があると思いますので宜しくお願い致します。



さて本日 11 日は、東日本大震災の発生から 1 年半を迎えました。今も 34 万の方々が全国に散って避難され、復興の足かせとなっている災害廃棄物の処理が済んだのは 25%に留まり、まだまだ被災地の復興の足取りは鈍く停滞している状態です。

先月末に内閣府の中央防災会議から駿河湾から日向灘までの南海トラフを震源域とするマグネチュード 9.1 の最大級の地震が起きた場合の想定の公表がありました。最大 34 メートルの津波が太平洋岸を襲い、震度 7 の強い揺れで被害想定は、最悪の場合関東以西 30 都府県で死者数 32 万 3 千人、建物被害 238 万 6 千棟と算出しました。津波による死者は全体の 7 割に相当し、都府県別の最大死者数も静岡県が 10 万 9 千人と最多で、大阪府は 1 万人と予想されています。またそれに伴う経済被害も住宅や道路、橋などの社会インフラを中心に国家予算の 1.7 倍に相当する 150 兆円を上回るという見方も出ています。

それに伴い、5 日には大阪府内全域で午前 11 時に府内にいる人の携帯電話を対象に「訓練用の緊急地震速報」メールを一斉配信する「大阪 880 万人訓練」が実施され、これは同種の訓練として国内最大規模であります。私の手元にもメールが時刻通り着信し、防災に対する意識付けが高まったものと思います。

弊社も LP ガス供給している関係で、保安の確保は絶対的なものであります。年 1 度地震対応の緊急防災訓練を毎年実施していますが、これ程の規模の地震が発生したらどのような対応手段になるか想像できません。しかし「想定外の想定を」という方針のもとで作成された今回の最悪のシナリオも、津波による非難意識を高めたり、津波避難ビルの活用、建物の耐震化、家庭内での補強を進めたり、地域での防災訓練、またメールでの一斉配信を行なうなど地道な防災対策などが、被害の抑制に大きな効果が発揮すると思います。

今回の報告書に「あえて言えば、正しく恐れてほしい」と被害想定を受け止め方に対して国は呼びかけていますが、皆様方はどのように受け止められたでしょうか。





◎ニコニコ箱委員会

中野 秀一 委員長

- ・誕生日 自祝 樋口 秀和 君
- ・結婚記念日 自祝 小林 誉典 君
- ・中新世代奉仕委員長 情報集会ごくろうさまでした 藤本 和俊 君
- ・商工会議所ゴルフコンペ参加しました 84人中73位でした
 今度頑張ります 中原 毅 君
- ・商工会議所ゴルフコンペ参加していただきました 会員の皆様
 ありがとうございました 感謝 上田 正義 君
- ・情報集会おつかれ様でした 高島 登 君
- ・東京スカイツリー登ってきました 中村 眞也 君
- ・妻に！ 感謝 田川 和見 君
- ・タクト振り 皆様ご指導いつもありがとうございます 感謝 杉原 巨峰 君
- ・高島先輩 有難うございました 佐藤 多加志君
- ・スコアはともかく 2日連チャンでゴルフしました 感謝 木村 克己 君
- ・実力もないのにゴルフハンディ10まで減らされました
 ありがとうございます 中野 秀一 君
- ・皆様のニコニコに感謝！ 中野 秀一 君
- ・9/8 2660 地区インターアクトクラブ合同会議に出席してきました
 中野委員長有難うございました 又、大阪天王寺 RC 松井様にも
 お世話になり有難うございました 東村 正剛 君
- ・初登山（ハイキング）頑張りました 中嶋 啓文 君
- ・商工会コンペ親子で景品いただきました 空門 満也 君
- ・東村さんありがとうございます 精一杯頑張ります 間 紀夫 君
- ・大矢さん九州の件ありがとうございます
 来月の家族会行けません ごめんなさい！ 東野 喜次 君
- ・先日息子が東京から帰って来て、彼女の写真を見せてくれました
 とても美しい女性で安心しました 植田 直平 君

◎9月11日（火）例会後 第3回45周年実行委員会が開催されました。
 *次回開催日は10月9日（火）例会後を予定しております。





◎米山奨学委員会

田川 和見 委員長

皆さん、こんにちは
私は付翠紅と申します。

皆さん、お元気ですか、夏はそろそろ終わりますが、暑い日はまだ続いています。お体にお気をつけてください。

さて、今日は、先月に姫路城見学に行ったことをお話したいと思います。

先月に日本人の友達と話した時に姫路城についてのことを少し知り、その後、自宅でインターネットを使い、姫路城について調べました。

姫路城は兵庫県姫路市にあった城で、白鷺城と呼ばれています。その城は江戸時代初期に建てられた天守や渡り櫓などの主要建築物が現存し、建築物は国宝や重要文化財、城跡は国の特別史跡に指定されているほか、ユネスコの世界遺産に登録されています。

特に今年は姫路城大天守が50年一度の大修理の年なので、修理の現場を公開しており、伝統的な工法による修理の様子を見学することができるという情報を知り、私は、見学に行きたいという気持ちが更に強くなり、姫路城に行きました。

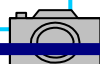
当日、目の前に現れた姫路城は雄大で綺麗で本当に感動しました。姫路城大天守修理見学施設「天空の白鷺」では、普段見ることのできない近距離から大天守最上層の大屋根、破風や懸魚などを間近に見ることができ、城郭建築の醍醐味を体感することができました。日本は科学技術が世界でトップレベルに立っているだけではなく、匠の技もすごいなと思いました。私は、日本について知らないことがまだまだ沢山あるとつくづく感じました。

これからは時間の余裕があれば、日本の各地に行き、見聞を広めたいと思っています。



撮影場所 和歌山県 南部沖合の根の付近
どこにでもいて全然珍しく無いエビです。
大きさも3cm ぐらいあり発見しやすい。
割れ目に住んでいるので丸々体全体が撮影できるのが珍しいので思わず撮ってしまいました。

サラサエビ





「 海外研修で学んだこと 」

担当 インターアクト委員長 東村 正剛
大阪桐蔭高等学校 二年 吉川 碧さん



2012年8月6日から9日までの日程で、担当校は四天王寺学園、提唱クラブは大阪南ロータリークラブ、団長は2660地区インターアクト委員長で大東ロータリークラブの中野先生のもと、国際理解を深めるため、台湾の台北、高雄へと出掛けました。

海外研修に参加する6校のインターアクターが、出発前の7月14日に四天王寺学園に集まり、オリエンテーションが行われました。旅行会社の方から日程内容の説明を受け、担当校の顧問の先生から注意事項を聞きました。また、台湾で披露する出し物の歌である『世界で一つだけの花』や踊りとして『河内音頭』を練習しました。また、事前学習として台湾のインターアクターとのコミュニケーションを図る為に『将来の夢』を考え、英語で発表する事ができる様に準備しました。

今回のインターアクト海外研修は、私にとって初めての海外旅行でした。その為、ずっと楽しみにしていました。実際に訪れてみると、台湾は余り日本と変わらない部分も多くありましたが、私は台湾にいると思うだけでうれしく感じました。ただ、料理だけは私の想像していた中華料理とは少し異なり癖があったため、少し戸惑いを感じました。全体的に味付けが甘かったのと、ウーロン茶まで余ったことには驚きました。それでも、今まで見た事のないような料理も一杯あり、おいしく食べられたものも沢山ありました。

この三泊四日の研修の中で一番楽しかったこと、そして、一番勉強になったことは二日目と三日目の高雄女子高校の生徒の皆さんとの交流です。台湾での一日目はガイドさんも日本語を話してくれたので英語を聞いたりすることはほとんどありませんでした。しかし高雄女子高校の生徒の皆さんと交流するときには、お互いの国の言葉では通じないので共通語の英語で会話をするしかありません。私は今までにこのような状況におかれた事が無かったため、初めはとても焦りました。高雄女子高校の人達は英語が上手で私はまず聞き取ることが大変でした。その後に喋りたいのに英語での





表現の仕方が判らずとてもじれったく感じました。なかなか単語などが出てこず苦労しましたが、自分が知っている単語を使ったり、ジェスチャーを使ったりして、とにかく全力で話そうとしました。今思えば、たぶん全く文章として成り立っていなかったと思うし、ジェスチャーを一番多く使っていたと思います。でも、話したい気持ちは解ってもらい、楽しくコミュニケーションをとることができました。

二日間、高雄女子高校の人達とデパートに行ったり、将来の夢について意見交換をしたりする事によってとても仲良くなれました。そして、研修三日目のさよならパーティーでの河内音頭の披露の時には最高に盛り上がりました。その後は一緒に写真を撮ったり、アドレスの交換をしたりしました。さよならのときは本当に寂しくなり涙が出てきました。

交流の他にも台湾の有名な故宮博物院や衛兵交代の見学、他にも様々なところに観光に行きました。忠烈祠での衛兵交代を見学に行った時は、衛兵の動きが揃っていてキレがあったことに驚きました。他にも高雄にあった佛陀記念館の大きな佛陀の像にも驚きました。まだまだ挙げていけばたくさんあります。

また、老人ホームを訪れたときには、障害のある方々が私たちに歌を披露して下さいました。皆さんが一生懸命に歌を歌って下さる姿を見て、私も頑張って生きて行けなくてはならないと強く思いました。また、老人ホームの中を案内されたときには、多くの方々が私たちに手を振り笑顔で挨拶して下さいました。

このように、台湾海外研修は内容の濃い四日間でした。その中で最も強く感じたのは、『英語で話せるようになる』ことでした。私は自分の未熟さを感じ、更に同じ高校生であるのにこんなにもちがうのかと悔しさも感じました。だから、次に海外に行くときにはもっと英語を話せるようになろうと思います。また、今回の研修は台湾の観光や学生との交流だけでなく、日本のインターアクターと仲良くなる機会や、ロータリーの先生方とも話す機会でもありました。

この充実した四日間を送る事ができたのはロータリアンの皆様、各学校の先生方のお蔭です。この研修に関わって下さった全ての方にお礼を言いたいと思います。

『有難うございました。』

